

日本共産党
いま2議席から

3議席実現で 市政を動かします



3議席になれば正式会派になり 議案提案権も



きっての

政策力

菊池 五右衛門

昭和 30 年美幌町生まれの 62 歳。北見工大野球部で神宮大会参加、生協設立に関わる。ハーモニカは唯一できる楽器。「いいね！ふるさと」。

市民の要望もない駅前再整備中止を求める論陣を張る。駅前広場の緑伐採は「もったいない！」の声多数。談合助長の入札制度にも厳しい目。



市民の

相談相手

くまがい 裕

昭和 29 年空知管内由仁町生まれの 63 歳。「国鉄の町」追分町で育ち、働く者、弱い立場の者こそ「みんなで力をあわせることが大切」と学んだ。「あなたのそばに熊ちゃんあり」をキャッチフレーズに、生活相談の解決に奔走しています。趣味は映画鑑賞(特に「男はつらいよ」が大好き)。



届けます

母と子の声を

桜井 ゆみ

昭和 32 年遠軽町生まれの 60 歳。北見育ち、就職も北見。「これ！」と決めたらすぐ行動開始。駅前ひろば解体の話聞き、あっという間に「駅前ひろばを楽しむ会」を設立。ハルニレコンサートも主催しました。どんな場所にも飛び込んでいくのは埼玉の議員時代の経験が生きています。

安倍改憲ストップ

戦争は絶対にダメです

署名運動にご協力ください



北見民報

2018年
2・3月号外

発行 北見民報社
北見市幸町 1-1
Tel 25-5121

日本共産党北見地区委員会は政策と見解を発表したので紹介します。

ねばり強く、繰り返し 議会で毎回質問



■ 入学準備金 入学前に支給
就学援助制度で支給の入学準備金が、入学後の6月支給から、入学前の2月に支給されます。

■ 学校図書館に司書配置進む
視察や調査を重ね、学校図書館への司書配置を繰り返し要求して実現。2017年度から毎年2名ずつ増員で全校配置へ。

■ 「要支援内容低下させない」
「要支援1、2の介護」について「市として内容を低下させない」の答弁を引き出しました。



■ 国保料1人あたり1万円引き下げ
「北見市の国保をよくする会」が2年続けて1万筆におよぶ署名を集め、議会に繰り返し請願。2015年以降1人当たり約1万円の引き下げを実現しました。

■ 市営住宅家賃最大4割軽減
使えない減免制度の改善を繰り返し求め、2015年から活用できるように。収入が生活保護基準の1・3倍未満で適用され、最大で4割軽減となります。

■ 子ども・高齢者のオムツ無料回収
子育て世代や介護世帯を応援する使用済おむつの無料回収を求めてきました。「検討する」から理解が進み、2017年から無料回収が実現。

■ 入学準備金 入学前に支給
就学援助制度で支給の入学準備金が、入学後の6月支給から、入学前の2月に支給されます。

実現してきました

市民のみなさんの声に耳を傾け、一緒に運動をすすめて、多様な要求を実現することができました。これからもみなさんの声をねばり強く市政に届けます。

市民の憩いの場が解体されました



「緑、本当にもったいない」

切実な声にこたえて

- 調査を市が約束 市営住宅のカビ
「カビの発生は、健康にも影響がある」と市は調査を約束。
- 北見ヶ丘霊園にバスを
「市の霊園に行くのに交通手段がない」とバスの運行を提案。
- 道営住宅の草がヒドイ
入居者の草刈り面積の減少を道へくり返し要求し実現。
- 危ない！カーブミラーを
見通しの悪い箇所にカーブミラーが設置に。「中古のミラーでもOKです！」



3 議席実現で市民の暮らしを守る力 **大きく**

安倍政治から

市議団が行った「市民アンケート」では、生活が「苦しい」「暮らしていけない」が合計 61%。暮らしの大変さが広がっています。3 議席実現で、「暮らしを守る力」を大きくしていきましょう。

新しい議会で **さっそく提案します**

子ども医療費無料化 中学卒業まで拡大 **若者応援の決定打!**

若い子育て世代の応援としてせめて義務教育までは子ども医療費無料化を進めるべきです。現在、通院が就学前まで、入院は中学卒業まで無料。管内では通院・入院とも網走市、紋別市をはじめほとんどの市町村で中学校まで無料。

国民健康保険料の引き下げ! **6億円活用して下さい**

国保会計には、準備基金6億円余が積み立てられています。この基金は現国保加入者の財産。これを活用して、保険料を引き下げることは当然の対応です。

配慮がない 水道料金の値上げに反対します

水道事業は使用水量が同じなら、収入の違いは関係なく同じ料金。結局、弱い立場の方々が、より重い負担を支払っています。

市民に配慮もない大幅値上げには明確に反対し、「基本料金を大幅に引き下げ、従量料金に比重をおいた料金体系」とすべきです。また低所得者や弱い立場の方には、「水道料金減免制度」をつくるべきです（道内半分の市が実施）。

3 議席
実現で

市民に見える議会に 議会の改革を提案します。

- 議論は本来 1 問 1 答であり、本会議での一問一答制の導入。
- 4 つの各常任委員会は最低毎月 1 回以上開催し、閉会中の常任委員会活動の推進。
- 年 1 回以上の議会報告会、または意見聴取会の開催など

議員さんの働いている姿見たいです



市民と共に進めます

市民の多くが、「若者がいなくなった」と心配… 若い世代の働く環境、子育てを応援

- 将来の人材を確保のため、正社員として採用する環境づくりを
- 地域特有の条件を活かした産業づくりで働く場の確保を
- 高校生に対する給付型奨学金を拡大
- 学校給食費の助成（現在小学生 3 分の 1 助成）を中学校にも拡大



安心して住み続けられる医療・介護・福祉を

- 国保料軽減、特に低所得者を減免制度の対象に。他市と比較して特別に多い資格証明書の発行をやめさせます
- 介護保険制度から軽度者（要介護 1、2）の介護サービスはさそうとする国の動きに反対します
- 介護保険料、利用料の減免制度を求めます
- 障がい者の働く場の拡大をめざします

運転免許返還 「こまった！」

高齢者の、車に替わる足の確保は切実です。バス路線の拡充や経路の見直しなどを求めます。

JRと農漁業を守り災害に強い街へ

- 「地方ローカル線は残す」として国鉄の分割・民営化を進めてきた国に、責任ある支援と対応を求めます
- TPP、FTA など極端な規制緩和に反対し、次の世代に引き継いでいける農業、漁業を地域の基幹産業として守ります
- 災害が予想される危険箇所の対策や、避難が必要な要支援者の早急な支援体制を求めます

3 議席
実現で

市政をしっかりとチェックします

市民の憩いの場である駅前ひろばを解体する工事に 10 億円もの費用が。「緑ももったいないけど、お金ももったいない」と市民。新庁舎工事入札で「予定価格事前公表」のため入札率 99%が续出。共産党議員団は「事後公表」を一貫して要求。（新年度から実施と市は明言。おそい!）

